

第9回百間川「二の荒手」調査委員会 議事録要旨

日時：平成13年11月7日（水）14:00～17:00

出席者

名合岡山大学教授、今本水工技術研究所長、倉地岡山大学教授

岡山県河川課 都市計画課 文化課 吉備文化財センター

岡山市都市整備局

国土交通省岡山河川工事事務所

議事要旨

1．平成13年度の検討結果の報告

第8回の調査委員会（H13.3）に提案された二の荒手を眼鏡橋構造にした場合の
模型実験結果について事務局より報告した。

2．二の荒手委員会としてのまとめ

- ・眼鏡橋構造は文化財として残すことにはならない。保存とは言えない。
- ・二の荒手の高水敷部分は今のまま残す方向とする。
- ・切り下げた場合でも二の荒手の現在のイメージが理解できる表示は必要である。
- ・治水を考えると、崩壊するシステムがよくわからない二の荒手は取り除くことがベストであるた、仮に二の荒手が壊れても安全となるような対策も含めて検討していくこととする。
- ・二の荒手の取り扱いについて、当委員会としての結論は出さないものとする。最終的な結論は、これまでの議論を踏まえ、もう少し広く意見を聞く場を設け詰めていくものとする。

以上